

※受付・講演は終了しています



【9月7日関西大学 松下慶太教授 登壇！／オンライン開催】“リモートネイティブ世代”と働くために人事担当者が知っておきたいこと～ニューノーマル時代の働き方・働く場所をどのようにデザインするか～

『HR イブニングセッション』は、“次世代人事パーソン”を目指す皆さんに向けて労務行政研究所が提供する、各界の第一人者による講演イベントです！

今回は、関西大学 社会学部の松下慶太教授を講師としてお招きします。松下教授は、「コワーキング・スペースやテレワークなど働く場所・働き方」、「ソーシャル・メディアを中心とした若者のメディア・コミュニケーション」、「若者のキャリア・学習」といった領域を中心に研究活動を行うとともに、自らノマドワークや2拠点生活等の新しい働き方を実践することでも広く知られています。

コロナ禍の影響で、リモート勤務など新しい働き方の導入が進み、コミュニケーションの在り方が新たな課題として浮上しています。こうした状況に、“会社に出社して仕事をするに馴染んだ世代”の多くはとまどいを感じている一方で、若い世代は歓迎しつつも不安を抱えているといったのが実情ではないでしょうか。

本セッションは、今後の“ニューノーマル時代”を支えて行く“リモートネイティブ世代”の意識や実態に焦点を当て、世代間の認識ギャップを埋め、彼ら・彼女らの力を引き出すにはどのようにすればよいかを解き明かすとともに、“ニューノーマル時代”を生き抜く組織活力の創出について示唆することをねらいとしています。これからの組織・人事を考える方々にとって必見のセッションと言えます。

■こんな人におすすめ

- ・人事の実務知識だけでなく、関連分野の最新動向を知り、視野を広げたい方
- ・最先端の専門家・経営者が考える「今後の人材マネジメントの要諦」を聞いてみたい方
- ・夕方～夜間の時間を有効活用して、知見を深めたい人事パーソン

■講演概要

リモートネイティブ世代と働くために人事担当者が知っておきたいこと
～ニューノーマル時代の働き方・働く場所をどのようにデザインするか～

1. “リモートネイティブ世代”を理解する
2. ニューノーマル時代の働き方

3. “プレイフル・カルチャー”醸成の重要性
 4. 経営者・管理職・人事担当にお願いしたいこと
- ※講演内容は、当日一部変更する場合がございます。

■講師

松下 慶太（まつした けいた）氏
関西大学 社会学部 教授



※詳しいプロフィールは本ページ下にてご紹介しています。

■開催日時

2021年9月7日（火）16:00～17:15

16:00-17:00 講演：松下 慶太 氏

17:00-17:15 質疑応答

※終了時にアンケートへのご協力をお願いします。

■開催方式

Zoom ビデオウェビナーを使った WEB セミナー形式にて開催いたします。

開催日の1営業日前に、Zoom 招待 URL のご案内を、Peatix のメッセージにてお送りいたします。

開催日1営業日前および開催当日は Peatix のメッセージ受信箱をご確認ください。

※URL および ID とパスワードは他の方と共有しないようお願いいたします。

<ご注意事項>

- ・Zoom のご利用環境は受講者ご自身で設定・確認ください。
- ・Zoom については、セキュリティの脆弱性に関する指摘がございますので、その点についてご理解いただいた上で、受講をお申し込みください。
- ・弊所は、Zoom のセキュリティの問題により発生した損害等につきましては、一切補償いたしませんので、ご了解のほど宜しくお願いします。
- ・映像、音声等が途切れた場合は、再接続をしてからの再開となります。
- ・接続が回復できない場合等、中止をする可能性があります。

■参加人数

80名までとさせていただきます。

※弊所競合となるサービスをお持ちの企業様の参加をご遠慮いただく場合があります。

■参加費用

3300 円（税込）

※チケット申し込み受付は9月2日（木）に終了いたします。

9月3日（金）から開催当日の9月7日（火）のお申し込みはできませんので、
ご注意ください。

<キャンセルポリシー>

- ・キャンセルにつきましては、開催日3営業日前（9月2日・木）までにご連絡ください。
なお、この場合、キャンセルの際に生じる手数料は、お客様のご負担となります。
- ・開催日2営業日前（9月3日・金）以降のキャンセルや当日のご欠席につきましては、
参加費を全額請求させていただきます。

■講師プロフィール

松下 慶太（まつした けいた）氏

関西大学 社会学部 教授

1977年、兵庫県神戸市生まれ。京都大学文学部・文学研究科、フィンランド・タンペレ大学ハイパーメディア研究所研究員、実践女子大学専任講師・准教授を経て、2020年4月より現職。専門はメディア論、都市論、コミュニケーション・デザイン。著書に、『ワークスタイル・アフターコロナ 「働きたいように働ける」社会へ』（イースト・プレス）、『モバイルメディア時代の働き方 拡散するオフィス、集うノマドワーカー』（勁草書房）がある。